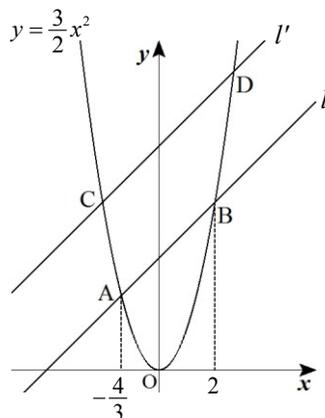


塾技 50 放物線と直線 (2)

問題 (難易度 B)

右の図のように、放物線 $y = \frac{3}{2}x^2$ が直線 l と 2 点 A, B で交わり、点 A, B の x 座標はそれぞれ $-\frac{4}{3}$, 2 である。また、 l と平行な直線 l' が放物線と交わる点を C, D とする。点 B と点 C の y 座標が等しいとき、次の問いに答えよ。



(関西学院高等部)

- (1) 直線 l の方程式を求めよ。
- (2) 点 D の座標を求めよ。
- (3) $\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ の面積の比を求めよ。

解

(1) 「塾技 49」より、

$$\text{直線 } l \text{ の傾き} = \frac{3}{2} \left(-\frac{4}{3} + 2 \right) = 1$$

$$\text{直線 } l \text{ の } y \text{ 切片} = -\frac{3}{2} \times \left(-\frac{4}{3} \right) \times 2 = 4$$

答 $y = x + 4$

(2) 点 C の y 座標 = 点 B の y 座標 = 6 より、点 C の x 座標は、

$$6 = \frac{3}{2}x^2$$

$$12 = 3x^2$$

$$x^2 = 4$$

$$x = \pm 2 \quad x < 0 \text{ より、} x = -2$$

ここで、直線 l と l' は平行なので、 l' の傾き = l の傾き = 1 とわかる。

「塾技 50」より、点 D の x 座標を d とし、 l' の傾きについて立式すると、

$$\frac{3}{2}(-2 + d) = 1 \quad \text{これを解いて、} d = \frac{8}{3}$$

一方、D の y 座標は、 $y = \frac{3}{2} \times \left(\frac{8}{3} \right)^2 = \frac{32}{3}$ となるので、 $D\left(\frac{8}{3}, \frac{32}{3}\right)$ と求められる。

答 $D\left(\frac{8}{3}, \frac{32}{3}\right)$

(3) $\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ は高さが等しいので、面積比は底辺の比と等しくなる。

「塾技 18」(1) より、底辺 AB と CD の長さの比を x 軸上に移して、

$$\begin{aligned} AB : CD &= 2 - \left(-\frac{4}{3} \right) : \frac{8}{3} - (-2) \\ &= \frac{10}{3} : \frac{14}{3} \\ &= 5 : 7 \end{aligned}$$

答 5 : 7